

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実		電話番号	087-839-2555
	基本事業	交通安全教育・啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	交通安全教育等推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	幼稚園、保育所、こども園、小・中学校等において、歩行教室や自転車安全運転教室などの交通安全教室を開催するほか、高齢者等を対象とした反射材教室、高齢者教室などの交通安全教室を開催する。また、交通安全意識の向上を図るため、関係機関・団体等と連携して、交通安全運動の展開や街頭キャンペーンなど交通安全の啓発活動を実施する。				
5年度概要	交通指導員、事務員人件費 交通安全都市推進協議会補助金、交通安全母の会連絡協議会ほか1団体 補助金 その他(幼、保、こ、小・中交通安全教室、高齢者等交通安全教室の開催など)				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	幼稚園、保育所、こども園、小・中学校の幼児、児童、生徒 地域の交通安全指導者 老人クラブ会員等
意図(どのような状態にしたいか)	幼児、児童、生徒に交通安全の基礎知識を身に付けてもらう。 地域の交通安全指導者に交通安全や街頭指導の知識を習得してもらい、指導者を通じて地域へ波及させる。 高齢者に交通安全の知識を身に付けてもらう。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
幼稚園、保育所、小学校、中学校での交通安全教室の開催数	回	259	318	355	380	380
高齢者交通安全教室等の開催数	回	1,398	1,703	1,303	1,520	1,520

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
幼稚園、保育所、小学校、中学校交通安全教室参加者数	人	目標値	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
		実績値	16,735	19,102	20,420		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 56.7%
新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖の発生や、蜜を避けるため教室参加人数を縮小して行った等のため、目標値の約57%に留まった。							19点
高齢者交通安全教室等参加者数	人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績値	1,853	2,150	2,008		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 40.2%
交通安全フェアや交通安全教室等の規模を縮小したことなどにより、目標の約40%程度に留まった。							14点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	42,119	42,425	40,841	45,429
(事業費)	[円]	23,414	23,550	22,131	26,719
(職員人件費)	[円]	18,705	18,875	18,710	18,710

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、高齢者の交通安全教室の実施数は減少している。今後の交通安全教室の実施内容については、体験型学習を増やすなど、参加した市民が理解、実践しやすい方法を工夫する。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、交通安全教室の実施内容については、体験型学習を増やすなど、参加した市民が理解、実践しやすい方法を工夫する。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実		電話番号	087-839-2555
	基本事業	交通安全教育・啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	交通安全啓発推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	交通安全フェアの開催や交通事故死ゼロを目指す日一斉キャンペーンなど、市内統一街頭キャンペーンを開催することで、交通安全に対する意識向上を図り、交通事故防止を促進する。				
5年度概要	啓発塔管理費等一般管理経費				
重点取組事業	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	


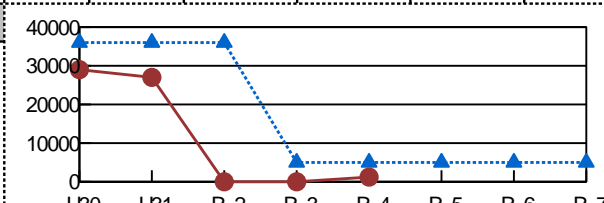

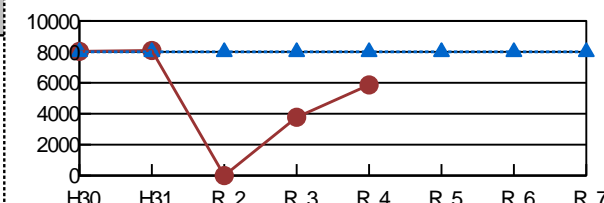
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	交通安全意識や交通ルール、マナーを守る意識を広める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
交通安全フェア開催日数	日	0	0	1	1	1
統一街頭キャンペーン実施回数	回	0	2	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	交通安全フェア参加者数	人	目標値	36,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	0	0	1,217		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2、3年度は開催できず、令和4年度においては、フラワーフェスティバルと合同で行っていた交通安全フェアを単独開催で規模を縮小して行った。  (目標達成度)						(達成度) 24.3%	
								8点
成果指標	統一街頭キャンペーン参加者数	人	目標値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
			実績値	0	3,771	5,862		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標どおり、3回の街頭キャンペーンを実施したものの、参加人数については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標の73%に留まった。  (目標達成度)						(達成度) 73.3%	
								25点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	10,567	10,720	10,626	10,629
（事業費）	[円]	92	150	148	151
（職員人件費）	[円]	10,475	10,570	10,478	10,478

【評価】

評価ランク (A～D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

交通安全フェアは、開催時期、場所を変更し、交通事故が多い高齢者等を対象に、交通安全に関して実際に体験できるコーナーを設けるなど見直しを行った。  
また、交通安全統一キャンペーンは、広く市民に認知され参加者も多く、交通安全事業としての意義も大きいことから、継続実施することが妥当である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

交通安全フェアは、引き続き、費用対効果を鑑み、単独実施で内容を拡充して実施する。また、交通安全統一キャンペーンについても、交通安全事業としての意義も大きいことから、継続実施することが妥当である。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実		電話番号	087-839-2555
	基本事業	交通安全教育・啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者等交通安全啓発推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者に、加齢による身体能力の低下の自覚と危険予測の考え方を身に付けてもらえるよう、参加体験型の交通安全教育の普及に努めるとともに、高齢者の自主的な運転免許証返納の促進策として、ICカード乗車券を交付することにより、高齢者が関係する交通事故の減少を図る。				
	5年度概要	高齢者運転免許証返納促進事業 ことでんILカカード、JRイコカカード、タクシー現金チケット（1万円×1,373件）など 交通安全フェア開催その他			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）


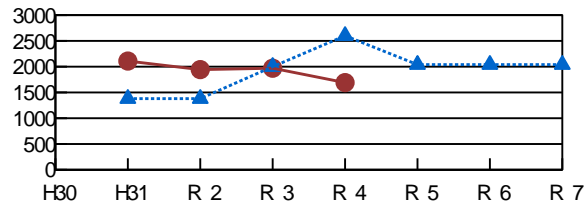

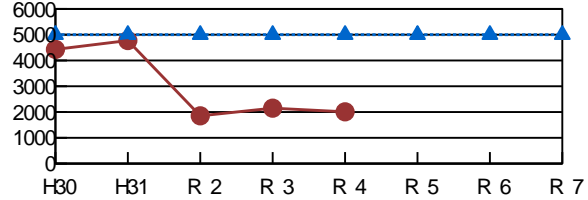
【事業の目的】

対象（何を）	高松市の高齢者（65歳以上）
意図（どのような状態にしたいか）	運転免許証の自主返納により、高齢者が当事者となる交通事故が減少する。 体験型の交通教室の実施により、高齢者自身が加齢による身体能力の低下を自覚し、危険予測の考え方の普及や交通安全知識の向上が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
高齢者交通安全教室等の開催数	回	1,398	1,703	1,303	1,520	1,520

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	65歳以上の運転免許証自主返納者数	人	目標値	1,380	2,000	2,600	2,040	2,040
	実績値	1,943	1,970	1,691				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年度の運転免許証自主返納者数は、目標値の約65%に留まった。 	(目標達成度)						(達成度) 65.0% 22点
	高齢者交通安全教室等参加者数	人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
実績値	1,853	2,150	2,008					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 交通安全フェアや交通安全教室等の規模を縮小して行ったことなどにより、目標値の約40%に留まった。 	(目標達成度)						(達成度) 40.2% 14点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	18,882	21,100	18,642	18,660
（事業費）	[円]	15,141	17,325	14,900	14,918
（職員人件費）	[円]	3,741	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

更なる高齢者の運転免許証の自主返納を促すため、効果的な周知啓発に努めるほか、関係団体等との連携を図り、高齢者以外の世代を対象とした自転車に関するセミナーを開催するなど啓発活動を拡充する。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

更なる高齢者の運転免許証の自主返納を促すため、効果的な周知啓発に努めるほか、関係団体等との連携を図り、高齢者以外の世代を対象とした自転車に関するセミナーを開催するなど啓発活動を拡充する。